



腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和8年5月22日(金) 速報 令和8年5月28日(木)

2 患者数

1名(女、20代)

3 概要

(1)経過

- 5月22日(金) 患者(岡山市)は、腹痛の症状を呈した。
- 5月23日(土) 患者は水様便及び腹痛の症状を呈した。
- 5月24日(日) 患者は血便及び腹痛の症状を呈した。
- 5月25日(月) 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関(病院)を受診し、同日入院。
- 5月27日(水) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるベロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2)その他

- ・患者は入院中だが、症状は軽症化している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和8年1月1日から
岡山市	9人
県内(岡山市を除く。)	16人
県内合計	25人

(岡山市の前年同時期の発生状況:7人)

◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。

◎岡山県は4月27日に県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令しています。

※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために

手洗いの励行(調理前、食事前、用便後)

十分な加熱(75℃で1分間以上)

をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 宮井・石原 直通086-803-1251 内線5751